

「もう一つの天下分け目—小牧・長久手の合戦」 —史料や屏風画から紐解く戦国最大級の合戦—

信長による天下平定事業を受け継いだ秀吉と家康。二人の間には天下を二分する対立が生まれます。小牧・長久手の合戦。この合戦が尾張を主戦場に行われた背景にはどのような事情があったのでしょうか。さらに様々な地域で戦いが展開されますが、史料にはどのように記されるのでしょうか。有名な小牧・長久手合戦屏風を詳しく紐解きながら、この戦国時代最大級の合戦を分かりやすく学んでみたいと思います。

《日 時》	2023年10月14日（土） 14：00～15：30（開場13：30）
《場 所》	Home&nicoホール江南市民文化会館 第1会議室
《定 員》	100名
《参 加 費》	無料
《お 申 込》	2023年9月4日（月）9：00～ ※お電話にてお申込みください （問合せ先）0587-55-2321 （受付時間）9：00～17：00

市橋章男(いちはし・あきお)

【略歴】

1954年、岡崎市生まれ。國學院大學で史学を専攻。教職員退職後、ふるさと岡崎にかかわる歴史・人物の著作活動を始める。

2005年、岡崎長誉館で「おかざき塾歴史教室」を主宰開講。

2019年、全国歴史研究会特別功労賞受賞。

新編岡崎市史調査員、前二松学舎大学大学院研究員、全国歴史研究会会員、ケーブルテレビミクス放送審議委員長、徳川みらい学会員。現在は「岡崎ふるさと歴史教室」主催

東海愛知新聞に、『天下人の実像』、『三河武士の原景』、『新三河風土記』、『家忠日記の世界』を掲載。

2023年NHK大河ドラマ「どうする家康」資料提供、脚本監修 テレビ朝日「家康の謎にせまる」、同局「林修の今知りたいでしょ」監修、出演 BS11「英雄たちの失敗から学ぶ」監修、出演

※主な著書として

『家康を支えた三河武士(1)本多忠勝、井伊直政』『赤鬼直政』、『天下人の実像』、『壬寅祈りの物語』、『三河の国より出づ』『まちづくりことはじめ—田中吉政の生涯—』など。

